

第5節 オホーツクの個性を活かした交流のまちづくり

基本目標

従来から進めてきたオホーツク海の海洋研究に加え、環境負荷の低減や地球温暖化に主眼をおいた研究を推進するほか、国際化に対応した人材づくり・環境づくりに努めます。
また、空港等の交通基盤や情報通信基盤を活用し、多様な地域と活発な交流・連携を推進するなど、地理的特性を活かした魅力ある交流が展開されるまちづくりを目指します。

オホーツクプログラム

- オホーツクプログラムの継続的な推進。
- 油汚染対策の調査・研究と北方圏シンポジウムの充実。

国際交流

- 国際理解教育の推進と外国人と共生するまちづくりの充実。

地域間交流・定住・二地域居住

- 二地域居住や移住、スポーツ合宿などの誘致と市民ホスピタリティの醸成。

交通体系

- 空港・港湾の利用促進、広域交通道路網や高規格幹線道路の整備促進とバス輸送の充実。

情報・通信

- 地域情報化の推進と市民の利便性向上。
- 情報教育の推進。



第6節 市民が行動、参画するまちづくり

基本目標

住民ニーズの多様化や地方分権に対応した効果的・効率的な自治体経営と周辺地域との連携による広域的な行政サービスの展開に努めます。
また、市民と行政が協働で進めるまちづくりを実践するため、町内会などの地域コミュニティが自主的に行う活動を支援するとともに、女性の積極的な社会参加・参画に努めるなど、市民・事業者・団体・行政が有機的に共創・協働するまちづくりを目指します。

市民との協働

- 市民参加機会の拡充と市民意識の高揚。
- 地域活動の活性化促進。

男女共同参画

- 男女が相互に協力し合う意識づくり。
- 女性の就業機会の確保と社会活動への参加促進。

行財政運営

- 長期的な視点による効果的・効率的な自治体経営。
- 時代の変化に対応した組織機構の確立。

広域行政

- 近隣町村と連携・協調を図り、広域連携の利点を生かした取り組みを推進。

